



YASKAWA

株主のみなさまへ

第94期 中間ご報告

平成21年3月21日 ▶ 平成21年9月20日



株式会社 安川電機

(証券コード:6506)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第94期第2四半期累計期間(平成21年3月21日から平成21年9月20日まで)における当社グループの業績について概要をご報告申し上げます。

当期の当社グループを取り巻く事業環境は、第2四半期に入り最悪期は脱した感がありますが、自動車業界を中心とした設備投資抑制の継続、工作機械や産業機械市場の低迷、為替の円高基調の定着等、依然厳しい状況にあります。

このような厳しい環境に打ち勝つべく、当社グループは、以下のような施策を実行してまいりました。

- ・ ACサーボモータ、インバータ、産業用ロボット等の主力商品における、有望市場開拓と既存市場でのシェア拡大
- ・ トップ率先の営業促進や、潜在需要の大きなお客様への提案による受注拡大
- ・ 技術開発のスピードアップとシステム対応力強化による新商品の提案の加速

しかしながら、受注におきましてはモーションコントロールセグメントを中心に、液晶業界や省エネルギー関連向け、あるいは、中国、アジア向けなどの一部の市場に回復の兆しがみられますが、いまだ低水準で推移しております。

このような状況下、即効性のあるコストダウン強化と

徹底した経費削減を推進し、利益確保に努めてまいりましたが、売上の減少及び操業度の低下による影響を補いきれませんでした。

これらの結果、売上高983億55百万円(前年同期比48.1%減)、営業損失83億74百万円(同242億4百万円減)、経常損失80億98百万円(同247億95百万円減)、四半期純損失62億62百万円(同157億77百万円減)となりました。

以上のような業績となりましたが、中間配当につきましては当初お知らせいたしておりますとおり、1株につき1円50銭とさせていただきます。

セグメント別の業績は2頁上表のとおりです。

今後の状況につきましては、一部の市場では、第2四半期以降、好転の兆しがみえはじめておりますが、個人消費の低迷、円高の進行に加え、自動車産業等の設備投資抑制が継続するリスク等もありますので、回復については、なお、予断を許さないものと考えております。

このような中において、当社グループは市場のニーズに合致した製品の提供とともに、製品の価格・納期・品質・使い易さの一層の向上を追求し、お客様のご要望に対して、あらゆる局面でスピーディーに対応してまいります。

また、現在、地球規模の問題となっている「環境への配慮」、「省エネルギー」に対応できるインバータをはじめとした商品群をもってお客様への更なる提案を行ってまいります。

具体的には、既存の施策に加え、今後、以下の強化策を実行してまいります。

- ・ 有望市場である中国、新興国(インド、ブラジル等)への迅速な拡販
 - ・ お客様のご要望に対応した主力商品の早期ラインアップの実現
 - ・ コストダウン徹底による圧倒的な価格競争力の実現、及び、受注増加に対応した効率的な生産体制の確立
- また、中期的には、当年度からスタートした中期経営計画“Challenge 100”に沿って、「ロボティクス ヒューマンアシスト」及び「環境エネルギー」分野において新しい市場を創出してまいります。

これらの施策により、業績の一刻も早い回復を図り、持続的成長路線へ乗せられるよう当社グループ一丸となり、果敢に挑戦してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月



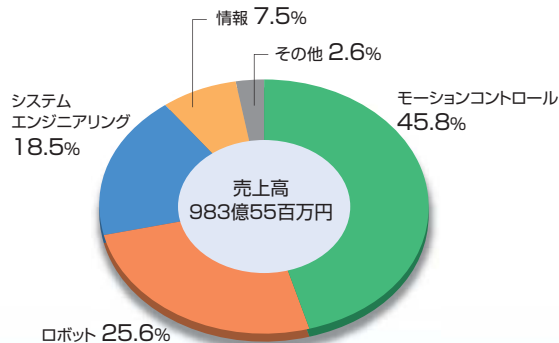
取締役社長

利島 康司

セグメント別の業績

| セグメントの名称 | 売上高(前年同期比) | 営業損益(前年同期比) |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| モーションコントロール | 449億99百万円 (459億90百万円減) | △39億52百万円 (142億32百万円減) |
| ロボット | 251億96百万円 (386億65百万円減) | △52億97百万円 (93億98百万円減) |
| システムエンジニアリング | 181億88百万円 (15億53百万円減) | 14億93百万円 (8億1百万円増) |
| 情報 | 73億78百万円 (37億83百万円減) | △6億11百万円 (10億7百万円減) |
| その他 (物流サービス、人材派遣等) | 25億92百万円 (11億27百万円減) | △83百万円 (4億74百万円減) |

第94期第2四半期累計 連結売上高構成比率



営業損失 : △83億74百万円
 経常損失 : △80億98百万円
 四半期純損失 : △62億62百万円



ACサーボ・コントローラは、アジア市場での回復、国内市場においても液晶業界向けを中心に受注回復の兆しがみられますが、全体としては、いまだ低い回復水準に止まっております。

インバータは、省エネルギー需要と、中国を中心としたインフラ関連需要を取り込み、主要製品の中では最も早く回復基調にあります。

主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- DCサーボモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 省エネモータ・インバータ
- 高周波インバータ
- プログラマブルコントローラ
- マシンコントローラ
- NCシステム
- ビジョンシステム
- その他



液晶業界向けは日本・中国・アジアの各地域で投資案件が立ち上がりつつありますが、自動車業界向けを中心とする溶接やハンドリングロボット及び半導体ウエハ搬送ロボットのいずれも、顧客の設備投資抑制の影響を大きく受けました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット
- 特殊アクチュエータ
- クリーン・真空内搬送システム
- ロボット応用FAシステム
- 医療・福祉サービスロボット
- その他

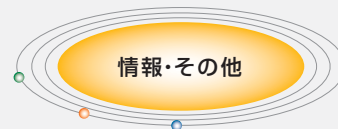




鉄鋼業界向けを中心に堅調に推移いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 中容量高圧インバータ
- 上下水道用電気計装システム
- 高圧開閉装置
- 道路設備電源システム
- コントロールセンタ
- 環境プラント用電機システム
- システム用制御盤
- パワーメカトロシステム
- 電力用配電機器
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 永久磁石内蔵形回転機
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- 中形誘導電動機
- システム情報制御機器
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- その他



情報関連設備投資の減少の影響により、需要が低迷いたしました。

主要製品

情報

- フロッピーディスクドライブ
- 二次元コードマーキング読取装置
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

その他

- 物流サービス
- 人材派遣
- その他



システム構築が自由自在! モーションコントロール商品のラインアップを拡充

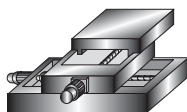
ACサーボドライブΣ-Vシリーズ用 位置決め機能をもったINDEXERモジュール

業界最高性能を誇るACサーボドライブΣ-Vシリーズに、位置決め機能を持ったINDEXERモジュールを新たにラインアップしました。パソコンまたはPLCを上位とするシステムに最適であり、位置決めコントローラを使用せずに高速・高精度位置決めとプログラミング運転ができます。これにより、Σ-Vシリーズの適用範囲を拡大し、シェアアップを図ってまいります。



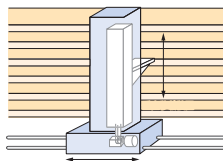
■主な適用例

Point to Point位置決め



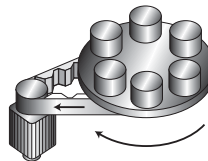
X-Yテーブル

定点位置決め



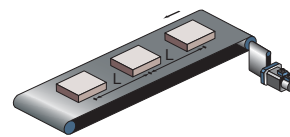
自動倉庫

ステーション位置決め(割り出し)



回転テーブル

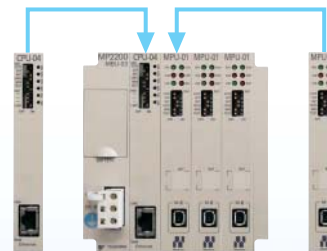
寸送り



位置決めコンベヤ

マシンコントローラMP2000シリーズ用 装置のタクトタイムを向上する、高速CPUモジュール

従来のCPUモジュール「CPU-02」に比べ2倍の速さの処理能力を持つ「CPU-04」と、分散処理でシステム高速化を可能にする「MPU-01」を販売開始しました。伝送速度100MbpsのオープンネットワークMECHATROLINK-IIIの活用、ダントツ性能のACサーボドライブΣ-Vシリーズとの組合せなど、装置のタクトタイムを大幅に向上する高速システムをご提案し、国内外で販売を強化してまいります。



CPU-04
CPU-02の2倍
の生産性が可能

MPU-01
最小250μsの
スキャン設定が
可能

ハイブリッド電気自動車(HEV)用モータドライブシステムを開発

近年、CO₂排出量の削減のために、排気ガスが少なく燃費のよいハイブリッド電気自動車(以下HEV:Hybrid Electric Vehicle)が注目を集めています。このニーズにお応えするため、当社は長年培ってきたモータドライブ技術を活かし、HEV用のモータ、ジェネレータ、パワーコントロールユニットからなる「モータドライブシステム」を開発しました。

システムの構造と特長

このシステムは、エンジンの出力をすべて電気エネルギーに変換し、モータのみで走行する「シリーズハイブリッド方式」のHEVへの搭載を前提に開発したものです。

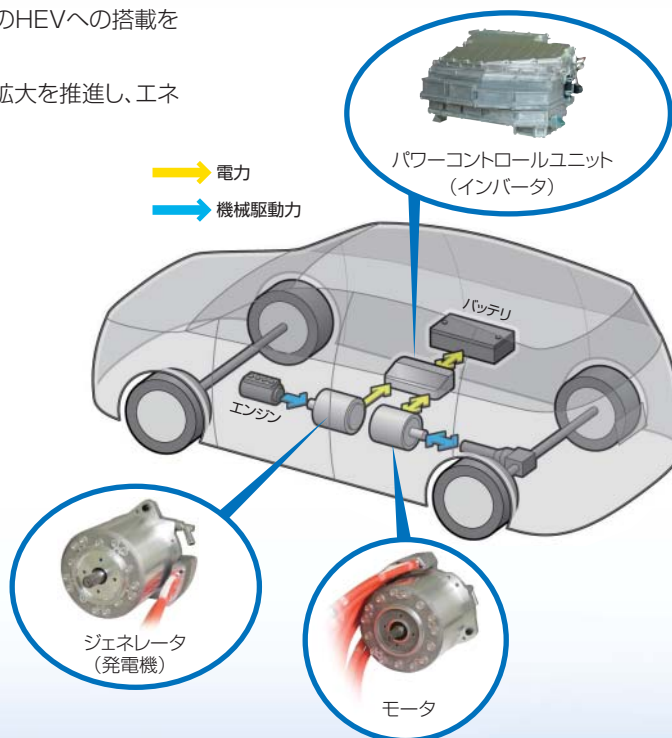
この開発を皮切りに電動車両の分野における事業拡大を推進し、エネルギーの効率化・クリーン化に貢献してまいります。

パワーコントロールユニット

車輪駆動用のモータ制御を行うインバータと、エンジンから電力を取り出すジェネレータの制御を行うインバータの2インバータ一体形です。新開発の電子式巻き線切替技術を適用し、スムーズな自動車の加減速を実現するとともに、中・高速運転でのモータ効率も大幅に改善しています。

モータとジェネレータ

小形・高効率モータとして定評のあるIPM(永久磁石内蔵形)モータをベースに、車載用として最適化した車駆動用モータと、エンジンに直結して発電するジェネレータを開発しました。



安川情報システム株式会社 NetSHAKER累積出荷台数 7,000台 突破

人と人がつながることをメインコンセプトに掲げ、ベーシックなネットワーク構築からハイエンドなアプリケーションまで洗練された技術でお客様の「つなぐ」を実現し、ビジネスの可能性を無限に広げることを狙いとしたアプライアンスサーバ「NetSHAKER」が平成10年11月の出荷開始から平成21年7月について7,000台を突破しました。これもひとえに、「NetSHAKER」をご利用いただくお客様からの温かいご支持とご支援の賜物と感謝申し上げますとともに、今後ともお客様のニーズやニーズにお応えできるような製品づくりに努めてまいります。



株式会社 ワイ・イー・データ 関西サービスセンターを開設

当社の主力事業であるオプト&メカトロソリューション事業の市場では、関西に拠点を置く有力企業が多く、この分野での営業開拓、アフターサービスをすすめるためには、関西にサービス拠点を開設する必要があると判断し、100%出資子会社の(株)ワイディー・メカトロソリューションズ(略称:メカソル)と共同で、平成21年9月に関西サービスセンター[大阪市北区、(株)安川電機大阪支店内]を開設いたしました。

同事業所は、当面関西地区でのオプト&メカトロソリューション製品のアフターサービス拠点としてスタートしますが、将来的には当社製品の市場開拓を行う関西地区での中心拠点を目指しています。



関西サービスセンターが入居している新藤田ビル



薄膜スプレー塗布装置



MLCC外部電極塗布装置
(MLCC:積層セラミックコンデンサー)

▲「メカソル主要製品」

高圧マトリクスコンバータFSDrive-MX1の開発で、 「平成21年度電機工業技術功績者表彰」*の最優秀賞を受賞



高圧マトリクスコンバータ
FSDrive-MX1

「高圧マトリクスコンバータFSDrive-MX1の開発」が、社団法人日本電機工業会(JEMA)主催の「平成21年度電機工業技術功績者表彰」の最優秀賞を受賞しました。

この製品は、世界で初めて直列多重マトリクスコンバータ方式を採用し、交流電源から任意の電圧・周波数に直接変換することで、あらゆる用途に適用できる高圧可変速ドライブ装置です。この開発により、産業用プラント設備の大幅な省エネ・高性能化・高速化が可能となり、世界的課題であるCO₂削減に貢献してまいります。

*: JEMAが昭和27年以来毎年1回、新製品・新技術などの優れた成果を挙げた功績者を表彰するもの

第10世代液晶ガラス基板搬送ロボットMOTOMAN-CDL3000Dの開発で、 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の「技術業績賞」*を受賞



第10世代
液晶ガラス基板搬送ロボット
MOTOMAN-CDL3000D

第10世代液晶ガラス基板搬送ロボット「MOTOMAN-CDL3000D」の開発で、平成21年5月に日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の「技術業績賞」を受賞しました。

この製品は、世界初、独自技術である「昇降ダブルリンク式支柱」を採用し、液晶薄型テレビ用大形ガラス基板(3m×3m)の高速・高精度・安定搬送を実現したところに高い評価をいただきました。

*: ロボティクス・メカトロニクス分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体に贈られるもの

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表(平成21年9月20日現在)

(単位：百万円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-------------|---------|-----------------|---------|
| 流動資産 | 148,912 | 流動負債 | 86,617 |
| 現金及び預金 | 19,699 | 支払手形及び買掛金 | 32,033 |
| 受取手形及び売掛金 | 63,623 | 短期借入金 | 30,575 |
| たな卸資産 | 45,977 | 未払費用 | 15,326 |
| 繰延税金資産 | 8,961 | その他 | 8,681 |
| その他 | 11,995 | 固定負債 | 45,787 |
| 貸倒引当金 | △ 1,344 | 長期借入金 | 12,708 |
| 固定資産 | 77,459 | 退職給付引当金 | 31,705 |
| 有形固定資産 | 38,615 | 役員退職慰労引当金 | 250 |
| 建物及び構築物 | 16,949 | その他 | 1,123 |
| その他 | 21,665 | 負債合計 | 132,404 |
| 無形固定資産 | 5,325 | 純資産の部 | |
| 投資その他の資産 | 33,518 | 株主資本 | 92,689 |
| 投資有価証券 | 16,358 | 資本金 | 23,062 |
| 繰延税金資産 | 12,725 | 資本剰余金 | 18,681 |
| その他 | 4,955 | 利益剰余金 | 51,348 |
| 貸倒引当金 | △ 521 | 自己株式 | △ 402 |
| | | 評価・換算差額等 | △ 3,746 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 932 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | △ 22 |
| | | 為替換算調整勘定 | △ 4,656 |
| | | 少数株主持分 | 5,023 |
| | | 純資産合計 | 93,967 |
| 資産合計 | 226,371 | 負債・純資産合計 | 226,371 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 自平成21年3月21日 至平成21年9月20日 | |
|-------------------------|----------|
| 売上高 | 98,355 |
| 売上原価 | 77,901 |
| 売上総利益 | 20,454 |
| 販売費及び一般管理費 | 28,828 |
| 営業損失(△) | △ 8,374 |
| 営業外収益 | 1,235 |
| 受取利息 | (33) |
| 受取配当金 | (131) |
| 雇用調整助成金 | (451) |
| その他 | (619) |
| 営業外費用 | 959 |
| 支払利息 | (370) |
| 持分法による投資損失 | (163) |
| 為替差損 | (260) |
| その他 | (166) |
| 経常損失(△) | △ 8,098 |
| 特別利益 | 24 |
| 固定資産売却益 | (24) |
| 特別損失 | 2,311 |
| 固定資産廃却損 | (88) |
| たな卸資産評価損 | (2,138) |
| その他 | (83) |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △ 10,385 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 181 |
| 法人税等調整額 | △ 4,087 |
| 少数株主損失(△) | △ 216 |
| 四半期純損失(△) | △ 6,262 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 自平成21年3月21日 至平成21年9月20日 | |
|-------------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,869 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,792 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 8,663 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 75 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 8,815 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,629 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 87 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,532 |

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比227億39百万円減の2,263億71百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が前連結会計年度末比201億60百万円減少したこと等によるものです。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末比222億19百万円減少したこと、及び長期借入金が増加により前連結会計年度末比74億23百万円増加

したこと等により、負債合計は、前連結会計年度末比142億85百万円減の1,324億4百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金が前連結会計年度末比96億35百万円減少したことにより、純資産合計は、前連結会計年度末比84億54百万円減の939億67百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比89億2百万円増の195億32百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、38億69百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失103億85百万円、仕入債務の減少226億73百万円、売上債権の減少217億57百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、37億92百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産等の取得による支出29億53百万円、投資有価証券等の取得による支出5億4百万円等です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、76百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、86億63百万円の収入となりました。これは、主として長期借入金による調達102億60百万円、短期借入金の増加16億75百万円等によるものです。

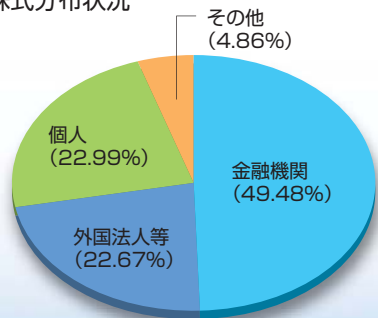
株式の状況 (平成21年9月20日現在)

| | |
|----------|------------|
| 発行可能株式総数 | 560,000 千株 |
| 発行済株式の総数 | 252,331 千株 |
| 株主数 | 25,428 名 |

| 主要大株主 | 当社への出資状況 | |
|--|-----------|-------|
| | 持株数 | 出資比率 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 20,326 千株 | 8.07% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 13,889 千株 | 5.51% |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 9,473 千株 | 3.76% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口) | 7,970 千株 | 3.16% |
| 明治安田生命保険相互会社 | 7,967 千株 | 3.16% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口) | 6,375 千株 | 2.53% |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 4,423 千株 | 1.76% |
| 日本生命保険相互会社 | 4,247 千株 | 1.69% |
| 日興シティ信託銀行株式会社(投信口) | 3,861 千株 | 1.53% |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 3,432 千株 | 1.36% |

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算定しております。

所有者別株式分布状況



役員 (平成21年9月20日現在)

| | |
|---------|-------|
| 取締役会長 | 中山 眞 |
| 取締役社長 | 利島 康司 |
| 取締役副社長 | 武井 紘一 |
| 専務取締役 | 鬼頭 正雄 |
| 常務取締役 | 岩田 定廣 |
| 常務取締役 | 沢 俊裕 |
| 常務取締役 | 宇佐見 昇 |
| 常務取締役 | 津田 純嗣 |
| 取締役 | 深堀 慶憲 |
| 取締役 | 後藤 英樹 |
| 取締役 | 中村 公規 |
| 取締役 | 小笠原 浩 |
| 取締役 | 本松 修 |
| 取締役 | 村上 周二 |
| 取締役 | 南 善勝 |
| 監査役(常勤) | 実松 敏文 |
| 監査役(常勤) | 市川 学 |
| 監査役 | 江口 宏 |
| 監査役 | 三井 康誠 |

会社の概要 (平成21年9月20日現在)

商号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 8,339名(連結) 2,839名(個別)

事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 電話(093)645-8801
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 電話(03)5402-4502
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 電話(052)581-2761
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 電話(06)6346-4500
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 電話(092)714-5331
工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所

主要関連会社

JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売ならびに
Ontrack(オントラック)データ復旧サービス
- 安川情報システム株式会社
計算処理受託・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造及び販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売

EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発及び製造

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
電気機器の製造・販売
- SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス
- MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス

AMERICA

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス

株 主 メ モ

事業年度 毎年3月21日から
翌年3月20日まで

定時株主総会 6月

(配当金受領) 毎年3月20日(期末配当金)
(株主確定日) 毎年9月20日(中間配当金)

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場金融商品取引所 東京・福岡

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

お知らせ 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|---------------------|---|---|
| 郵便物送付先 電話お問い合わせ先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| お取扱店 | お取引の証券会社になります。 | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 |
| ご 注 意 | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月及び11月にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。

配当金を配当金領収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

中間配当取締役会決議通知はがきの郵送廃止のお知らせ

中間配当に関するご案内につきましては、昨年まで、株主各位に「中間配当に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りすることにより行ってまいりましたが、本年をもちまして、同はがきの郵送を廃止させていただきます。

今後は、これに替えて、当社ホームページにてご案内させていただきますので、なにとぞご了承くださいますようお願い申し上げます。

ホームページのご案内

右記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。 <http://www.yaskawa.co.jp/>



YASKAWA

株式会社 安川電機



●古紙を含んだ再生紙を使用しています。
●環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。